CASBEE-新築（簡易版）2010年版

（仮称）海老名市東柏ヶ谷5丁目ﾏﾝｼｮﾝ

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル：CASBEE-新築（簡易版）201

■評価ソフト：　CASBEE-NCb_2010(v.1.8)

スコアシート　　実施設計段階

配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分 評価点	建物全体・共用部分 重み係数	住居・宿泊部分 評価点	住居・宿泊部分 重み係数	全体
Q 建築物の環境品質						**3.2**
Q1 室内環境			0.40			**4.0**
1 音環境		**2.0**	0.15	**3.8**	1.00	**3.5**
1.1 騒音		**3.0**	0.50	**3.0**	0.50	
1 室内騒音レベル		3.0	1.00	3.0	0.50	
2 設備騒音対策		-	-	3.0	0.50	
1.2 遮音		**1.0**	0.50	**4.6**	0.50	
1 開口部遮音性能	遮音性能T-2とした。	1.0	1.00	5.0	0.30	
2 界壁遮音性能	室間音圧ﾚﾍﾞﾙ差等級Dr-55	-	-	5.0	0.30	
3 界床遮音性能（軽量衝撃源）	遮音等級Lr-45	-	-	4.0	0.20	
4 界床遮音性能（重量衝撃源）	遮音等級Lr-50	-	-	4.0	0.20	
1.3 吸音		-	-	-	-	
2 温熱環境		**2.0**	0.35	**5.0**	1.00	**4.6**
2.1 室温制御		**3.0**	0.50	**5.0**	1.00	
1 室温		3.0	0.63	-	-	
2 負荷変動・追従制御性		-	-	-	-	
3 外皮性能	熱損失係数2.05W/(㎡･K)，夏期日射取得係数0.037	3.0	0.38	5.0	1.00	
4 ゾーン別制御性		-	-	-	-	
5 温度・湿度制御		-	-	-	-	
6 個別制御		-	-	-	-	
7 時間外空調に対する配慮		-	-	-	-	
8 監視システム		-	-	-	-	
2.2 湿度制御		**1.0**	0.20	-	-	
2.3 空調方式		**1.0**	0.30	-	-	
3 光・視環境		**2.5**	0.25	**4.0**	1.00	**3.8**
3.1 昼光利用		**4.2**	0.30	**4.0**	0.50	
1 昼光率	共用部：7.9，住戸Bﾀｲﾌﾟ：6.6	5.0	0.60	5.0	0.50	
2 方位別開口		-	-	3.0	0.30	
3 昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	0.20	
3.2 グレア対策		**2.0**	0.30	**4.0**	0.50	
1 照明器具のグレア		-	-	-	-	
2 昼光制御	庇，ｶｰﾃﾝにより制御	2.0	1.00	**4.0**	1.00	
3 映り込み対策		-		-		
3.3 照度		**3.0**	0.15	-	-	
3.4 照明制御		**1.0**	0.25	-	-	
4 空気質環境		**3.6**	0.25	**3.6**	1.00	**3.6**
4.1 発生源対策		**4.0**	0.60	**4.0**	0.63	
1 化学汚染物質	JIS/JAS規格のF☆☆☆☆建材を使用する。	4.0	1.00	4.0	1.00	
2 アスベスト対策		-	-	-	-	
3 ダニ・カビ等		-	-	-	-	
4 レジオネラ対策		-	-	-	-	
4.2 換気		**3.0**	0.40	**3.0**	0.38	
1 換気量		3.0	0.50	3.0	0.33	
2 自然換気性能		-	-	3.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.50	3.0	0.33	
4 給気計画		-	-	-	-	
4.3 運用管理		-	-	-	-	
1 CO_2の監視		-	-	-	-	
2 喫煙の制御		-	-	-	-	
Q2 サービス性能		–	0.30	-	-	**2.9**
1 機能性		**2.8**	0.40	**3.2**	1.00	**3.1**
1.1 機能性・使いやすさ		**4.0**	0.40	**4.0**	0.60	
1 広さ・収納性		-	-	-	-	
2 高度情報通信設備対応	100Mbitｸﾗｽのﾌﾞﾛｰﾄﾞﾊﾞﾝﾄﾞが利用可能	-	-	4.0	1.00	
3 バリアフリー計画	バリアフリー新法の建築物移動等円滑化基準を満たしている。	4.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性		**1.0**	0.30	**2.0**	0.40	
1 広さ感・景観		-	-	3.0	0.50	
2 リフレッシュスペース		-	-	-	-	
3 内装計画		1.0	1.00	1.0	0.50	
1.3 維持管理		**3.0**	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50	-	-	
3 衛生管理業務		-	-	-	-	
2 耐用性・信頼性		**2.9**	0.31	-	-	**2.9**
2.1 耐震・免震		**3.0**	0.48	-	-	
1 耐震性		3.0	0.80	-	-	
2 免震・制振性能		3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数		**3.0**	0.33	-	-	
1 躯体材料の耐用年数	劣化対策等級3相当とした。	5.0	0.23	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		1.0	0.23	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.09	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.08	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.15	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.23	-	-	

2.4 信頼性		2.6	0.19	-	-	
1 空調・換気設備		3.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備		3.0	0.20	-	-	
3 電気設備		1.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備		3.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性		3.0	0.29	2.8	1.00	2.8
3.1 空間のゆとり		-	-	2.6	0.50	
1 階高のゆとり		-	-	3.0	0.60	
2 空間の形状・自由さ		-	-	2.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり		-	-	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性		3.0	1.00	-	-	
1 空調配管の更新性		3.0	0.17	-	-	
2 給排水管の更新性		3.0	0.17	-	-	
3 電気配線の更新性		3.0	0.11	-	-	
4 通信配線の更新性		3.0	0.11	-	-	
5 設備機器の更新性		3.0	0.22	-	-	
6 バックアップスペース		3.0	0.22	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)		–	0.30	-	-	2.4
1 生物環境の保全と創出		1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮		3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮		3.0	0.30	-	-	3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性		–	-	-	-	3.6
LR1 エネルギー		–	0.40	-	-	4.6
1 建物の熱負荷抑制	省エネルギー対策等級4相当とした。	5.0	0.40	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用		3.0	0.20	-	-	3.0
2.1 自然エネルギーの直接利用		3.0	0.50	-	-	
2.2 自然エネルギーの変換利用		3.0	0.50	-	-	
3 設備システムの高効率化	潜熱回収型給湯器及びLED照明器具設備を採用した。	5.0	0.40	-	-	5.0
集合住宅以外の評価(ERRによる評価)	#VALUE!	5.0		-		
集合住宅の評価		5.0		-		
4 効率的運用		-	-	-	-	-
4.1 モニタリング		-	-	-	-	
4.2 運用管理体制		-	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル		–	0.30	-	-	2.8
1 水資源保護		3.4	0.15	-	-	3.4
1.1 節水	節水型大便器を採用した。(大:4.8L/回, 小:3.6L/回)	4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無		3.0	1.00	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無		-	-	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減		2.7	0.63	-	-	2.7
2.1 材料使用量の削減		2.0	0.07	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.24	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	–	3.0	0.20	-	-	
2.4 非構造材料におけるリサイクル材の使用	–	1.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材		2.0	0.05	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	外壁廻りの仕上げを躯体と容易に分別可能とした。	4.0	0.24	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避		3.0	0.22	-	-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.32	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避		3.0	0.68	-	-	
1 消火剤		-	-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50	-	-	
3 冷媒		3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境		–	0.30	-	-	3.1
1 地球温暖化への配慮	ライフサイクルCO2排出率:70%	4.1	0.33	-	-	4.1
2 地域環境への配慮		2.8	0.33	-	-	2.8
2.1 大気汚染防止		3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善		3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制		2.5	0.25	-	-	
1 雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2 汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3 交通負荷抑制		2.0	0.25	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制		2.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮		2.5	0.33	-	-	2.5
3.1 騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	-	
1 騒音		3.0	1.00	-	-	
2 振動		-	-	-	-	
3 悪臭		-	-	-	-	
3.2 風害・砂塵、日照阻害の抑制		1.6	0.40	-	-	
1 風害の抑制		1.0	0.70	-	-	
2 砂塵の抑制		1.0	-	-	-	
3 日照阻害の抑制		3.0	0.30		-	
3.3 光害の抑制		3.7	0.20	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	広告物照明等なし。	4.0	0.70	-	-	
2 昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	